

社会医療法人松平病院 広報誌

# アンダンテ

No. 66  
2023.1



背景ポスター/1 病棟 I.Fさんの作品 モデル/セラピー犬 いちこ

- 年始の挨拶…P2
- グループホーム「プラ・メゾン」完成…P3
- デイケアだより…P4・P5
- 病棟行事…P6
- 一人暮らし応援隊…P7



明けましておめでとうございます。

今年も新型コロナ感染の第八波とともに迎えることになりました。厳しい行動制限が解除されつつありますが、いまだにマスクは必須アイテムでありますし、レストランでは席がアクリル板で仕切られ、黙食が勧められております。

ところで長い間、精神科医として診察していると、言葉が途切れがちで気まずい沈黙が診察場面を支配する場合や、逆にまるで沈黙を恐れるかのように、次から次へと誰がそして誰に話しているのかもわからないような言葉を吐き出し、一刻でも早くその場を立ち去ろうとする患者さんに出会うことがあります。また、相手と話しているとうまく間が持てず、いつどのタイミングで話しているか分からないため、会話がスムーズにいかないとの訴えもよく聞きます。さらには、他人の声が勝手に頭の中に入り込んでくるとか、自分の考えが相手に筒抜けになっていると訴える方や、他人から距離をとり、あるいは自分を隔離して閉じこもる方もおります。これらはいずれも自分と他人の間にある「間」あいのとり方に問題があると考えられます。車の場合もそうですが、アクセルやブレーキペダルには必ず「遊び」があり、この「遊びの間」によってスムーズな乗り心地の良い運転が可能となるのです。つまり、「間」が大きすぎても小さすぎても摩擦や問題が生じてしまいます。円滑なコミュニケーションには柔軟な遊びの「間」が必要なのです。新型コロナ感染の長期化による人々の行動変化が、この自他間の適切な「間」に影響を及ぼすことのないように祈っております。

昨年の漢字は、「戦」でした。ウクライナ侵攻や新型コロナとの「戦」いが早く終息することを心から願うと同時に、今年は兎年（私は年男）ですので、ウサギのようにびよんびよんと飛び跳ね、是非とも飛躍の年にしたいものです。



社会医療法人 松平病院 院長 北條 敬

2022年12月、3棟からなるグループホーム「プラ・メゾン」が完成しました。

# グループホーム プラ・メゾン完成



グループホーム「ベル・エポック」は、新たに「プラ・メゾン」として生まれ変わりました。「プラ・メゾン」の語源となった「平らな家」には松平病院の”平”を含みつつ、平穏で平和な生活の場になるよう願いを込めました。館内は木の温もりを感じるデザインと、太陽の光が差し込む明るく暖かい雰囲気になりました。

最大20名で生活していたベル・エポックとは異なり、プラ・メゾンは1棟の定員が6～7名と少人数の生活になります。入居者同士が支えあいながら、落ち着いた環境で過ごすことができます。



## 入居者さんの声

- ここに来て良かった。最後の住処にしたい。(Sさん)
- これからやりたいことを思い浮かべて楽しみ。(Nさん)
- 新築で非常に快適で最高です。(Yさん)



## 八戸工業大学連携協定締結式

2022.12.6

当法人は八戸工業大学と連携協定を締結しました。これまでも八戸工業大学とはドクターカーの展示や催事の協力、キッチンカー販売などの協力はありましたが、今回の協定締結により、相互の人材育成や障害者の就労支援(販路拡大)、多様化する学生の支援・サポートなどについての連携を強化していくことが期待されます。



## 室内レク大会・バレーボール大会

2022年10月にバレーボール大会を開催し、利用者16名が参加をしました。感染対策のためスポーツができない時期もありましたが、利用者から希望する声もあり3年ぶりの開催となりました。また、普段はデイケア内のホールでレクを行っていましたが、体育館の広々としたスペースで大きなボールを使ったレクやカーリングなどの室内レク大会も開催しました。利用者の感想をご紹介します。



3年ぶりのバレーボール大会に参加をしました。久しぶりのプレーでちょっと緊張しましたが、前回よりも成長していた自分に驚きました。前は負けてばかりでしたが、今回は勝つことができ嬉しく思いました。当日は気温低めでしたが、肌寒い季節に負けず他メンバーさん達とプレーすることができてよかったです。また来年も一緒にやることができたら嬉しいと思います。ありがとうございました。

(M・Mさん 女性)

体育館で初めてのレクでは、色々な大きさのボールを使って、サッカーのゴールみたいなものを置いて時間内で色々な大きさのボールをゴールに入れるタイムレースをして面白かった。2回目のレクはカーリングに近いレクをした。点数は真ん中が一番高い点数で、その周りは少し低い点数。さらに外側の周りはもっと低い点数で、一番外側は点数なし。それを2チームに分かれて交互にストーンを投げ合い、高い得点を目指して競技した。皆でやって楽しめたと思う。またこういうイベントがあったら参加したいと思う。(M・Yさん 男性)

# 三味線教室発表会

プログラム活動で三味線教室を週1回行っています。2022年12月14日に日頃の発表の成果を披露する場として三味線発表会を開催しました。発表に参加をしてくれた利用者さん達の感想をご紹介します。



## 三味線演奏担当Sさん

今回、盆踊りメドレーが一番緊張しました。ソロで演奏したのがこの発表会で初めてだったからです。少しぎこちなかったけど、大きなミスはしなかったと思います。新しく覚えた八戸小唄も無事に弾くことができました。今回ミスをした部分をこれからの練習で直そうと思います。(S・Sさん 女性)



## 掛け声担当Kさん

三味線発表会はマスクをして行いましたが、掛け声は気を遣って声を掛けました。タイミングを合わせようとしたのですが、タイミングが少し外れてしまいました。他のメンバーさんから拍手をもらってとても嬉しかったです。コロナが収まったらマスクを外して発表したいです。(K・Tさん 男性)

## アナウンス担当Hさん

三味線発表会が12月14日にありました。進行をするアナウンスを担当しました。去年に引き続き2回目のアナウンス担当でしたが、とても緊張しました。曲目や皆さんのお名前を間違えないように気をつけました。他メンバーさんから聞きやすかったと褒めてもらってとても嬉しかったです。(H・Jさん 女性)

## 太鼓担当Sさん

今回の三味線発表会はいつものように太鼓の演奏をしました。12月に入って休みの都合で最後の練習があまりできないまま本番になりましたが、なんとか大きいミスをせずに、まあまあのできだと思いました。来年もぜひこの感じでコツコツと練習できたらいいなと思いました。(S・Sさん 男性)

# 病棟行事

## 初詣

2023年1月3日(火)、4日(水)各病棟にて「初詣」を行いました。昨年も新型コロナウイルス感染症予防のため、外出・外泊・面会中止の日々が続きました。今年こそは、新型コロナウイルス感染症の終息、外出・外泊・面会の再開、また様々な行事が合同で行うことが出来る年になることを願いながら開催しました。



松平神社にお参り

絵馬に願い事を書いて  
一人一人貼りました

## 新年会

皆でお参りした後は、「新年会」。干支のうさぎが焼き印された上用まんじゅうと、甘酒を頂きながら、作業療法賞(昨年、作業療法プログラムで頑張った人)や年女・年男の紹介、お待ちかねのピンゴ大会!を行いました。



ぜんぜん  
開かないよー

「えっ?  
何番?



## お待たせしました!



2022年10月12日・19日(水)「七夕祭り」⇒「お待たせしました!七夕祭り」が行われました。7月に予定していましたが、市内の医療機関、施設等において新型コロナウイルス感染症のクラスター発生が増え、延期となっていました。中止するかどうか検討しましたが、患者さん達はこの日のために「うちわ作り」や屋台メニューを見ながら「何を食べようかな」と検討している姿を見て、クラスターが落ち着いたら…と開催が決まりました。



屋台前に行列



ベル・エポックのお好み焼き

ゲームコーナー



# 一人暮らし応援隊

## ■ 相談支援専門員って何？どんな仕事？役割は？

### ～こんな困りごとはありませんか？～

「一人暮らしをしたいけど掃除や洗濯を一人でできるか心配」

「今まで一人で暮らしてきたけど、最近、家のことをするのが大変になってきた。

ヘルパーさんに手伝ってもらいたい」

「働きたいけど、自信がないから、仕事をするまでの準備について相談をしたい」

## ■ 相談支援専門員は、その人と地域をつなげる専門職です

特定相談支援事業所「ベル・エポック」では「計画相談支援」を提供しております。

「計画相談支援」とは、「障がいをお持ちの方が障害福祉サービスを利用するためのお手伝いをするサービスです。住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるように「相談支援専門員」が、サービス利用のサポートをさせていただきます。

相談支援専門員はご本人からお話を伺い、希望する生活に寄り添うためのサービス内容について、一緒に考えます。ご本人と相談をして「サービス等利用計画」と呼ばれる具体的な支援サービスの利用計画を作成します。

その後もサービスを提供する事業所の見学の同行など、利用までの手続きについてもお手伝いいたします。また、スムーズなサービス利用に繋げるために利用開始時には、ご本人と支援スタッフとで「サービス担当者会議」を行ってご本人の希望やサービス内容について確認をします。サービス利用後も支援内容がご本人の希望に沿っているか定期的に相談支援専門員がお話を伺い、必要時にはサービス利用計画を見直します(モニタリング)。



\* 計画相談支援はご本人・ご家族から利用料はいただきません。利用を希望される方はお気軽にご相談下さい。

特定相談支援事業所 ベル・エポック

電話 0178-30-1150

# カフェレストラン茶居花

営業時間：10：00～19：00（ラストオーダー18：20）

休業日：毎週木曜日



期間限定  
パエリア&  
チーズフォンデュ  
フェア  
1/6~2/28

## ミックスパエリア (2人前)

県産鶏肉と海老、帆立などのシーフードを使用した、サフラン風味のパエリアです。 **3,600 Yen**

- セット内容
- パエリア
  - ミニサラダ
  - 3品盛りデザート
  - カボチャのクリームソースとパエリアソース
  - パエリアに合うスープ
  - ドリンク



## チーズフォンデュ (2人前)

クリーミーなチーズと、ソーセージ、海老、彩り野菜、茶居花のパンがセットです。 **3,500 Yen**

- セット内容
- チーズフォンデュ
  - ソーセージと海老
  - 彩り野菜4品
  - カボチャのクリームソースとパエリアソース
  - 茶居花パン
  - ドリンク

NEW OPEN



Online Store

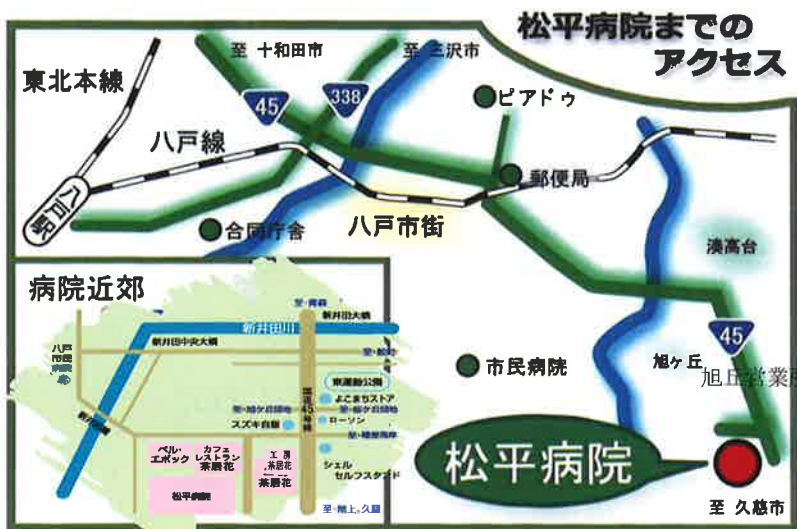
カフェレストラン茶居花／工房茶居花／ベル・エポックのオリジナル商品が購入できるオンラインストアがオープンしました。皆様のご利用お待ちしております。



ONLINE SHOP  
Powered by BASE

■WEB ブラウザからのご利用  
<https://chaihana.base.shop/>  
上記 URL または左記 QR コードへアクセス！

■Pay ID アプリからのご利用  
App Store、Play ストアから「Pay ID」アプリをインストールして「茶居花」で検索！



〒031-0813

青森県八戸市大字新井田字出口平 17  
社会医療法人 松平病院

電話 0178-25-3217

発行元 社会医療法人 松平病院

発行責任者 北條 敬

編集責任者 横田 浩

編集委員 前田 優子

高橋 千恵子

田中 泰子

下田中 隆哉

長谷部 幸恵

佐藤 美佐緒

西垣 梨佳

桜田 はつみ

高橋 加奈子

八戸駅から八戸市営バス旭ヶ丘営業所まで(旭ヶ丘営業所行き)約 35 分  
(料金 320 円)

八戸市営バス旭ヶ丘営業所から出口平バス停まで(工業大学行き)約 5 分  
(料金 170 円)